

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	更生保護事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課	
		予算科目	3 款 1 項 1 目	事業番号	870	所属長名	泉一人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	戸谷香代子	
法令根拠等	更生保護法・更生保護事業法				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 心の通った社会福祉の推進					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	伊予市更生保護女性会が実施する更生保護活動の活性化及び円滑な推進を図り、誰もが安心して自分らしく暮らしながら、相互に支え合う思いやりのある地域づくりに寄与する。						
事業の対象	青少年の健全育成及び罪を犯した人の更生			事業の目的	地域犯罪の防止及び予防を実施すると共に、非行を起こした少年や犯罪者の更生立ち直りの手助けに寄与する。		
事業の内容 (整備内容)	更生保護施設「雄郡寮」の運営を支援する更生保護女性会への補助金を交付する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	380	394	0	0	0	369						
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	愛媛県更生保護事務負担金	千円	38	38	38	38
	県支出金	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	更生保護女性会補助金	千円	298	298	298	298
一般財源	380	394	0	0	0	369						
職員の人工(にんく)数	0.22	0.22				0.22						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	2,136	2,152				2,127						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					394	394	394	394	394	1,970		
成果指標	指標	各種事業への参加者数	単位	⇒	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標	毎年度		
			人		目標	350	350	350	350			
	指標設定の考え方	各種事業への参加者数によって、事業の効果を計測する。			実績	318	392					
	指標で表せない効果	青少年の健全育成、罪を犯した人の更生支援を目的としている。また、行政機関との連携について効果がある。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		毎年保護司と協力して「社会を明るくする運動」を開催している。また、6支部それぞれの地区でミニ集会を開催し、自らの活動を基に地域での青少年健全育成、犯罪を犯した方の社会復帰における地域全体とのつながりなど、広く周知している。							
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	「社会を明るくする運動」開催においては、保護司・行政が連携し多くの方に参加いただいた。支部活動では、各地区に応じた取り組みを進めることで事業推進に努めた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげることができている。	3				
	効率性	手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4				
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3					
	一次判定 (所属長)	妥当性	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3				
			目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4				
有効性		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4					
		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
効率性	施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげることができている。	3						
	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4						
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
所属長の課題認識	市民 (受益者) 負担の適正	投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4						
		コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3						
		満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						

■ 事業継続と判断する。
 事業縮小と判断する
 事業廃止と判断する
 (判断の理由)
 犯罪を犯した人の更生を援助するとともに、犯罪を予防するための活動に対する補助事業であり、継続と判断する。
 保護司会事業と同様、更生保護活動について、市民への周知と理解を深めていく必要がある。

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	